

保護者の皆様へ

自己評価振り返り

2021.3.22

金沢愛児園

① 職員自己評価についてご報告

- コロナ禍で、とにかく体調管理に努めた1年だったという職員が多数いた。
- マスクを使用しながらの保育で、かなり意識して子どもと関わった職員が多く、声のトーンを工夫したり、少し大きく反応することで感情を伝えられたという評価が多かったです。また、離乳食などで、咀嚼を大事に伝え始める時期には、マウスシールドを使用して工夫しました。
- 園内に保護者の方に入ってもらえないため、保育の様子では写真を多く取り入れ掲示する事を意識しました。しかし、保護者の方と満足のいくコミュニケーションや相談ができる雰囲気づくりには、課題が残り来年度は様子を工夫しながら、懇談会など実施したり、職員の対応力を磨いていきたいと思います。
- 感染予防でクッキングがなかなかできなかったため、他の事で子ども達を楽しませる事は出来ないかという課題があがり、3月は選べるメニューを検討しました。今後も、畑を活かしたり、複数でのクッキングの代わりになる食育を充実させていきたいと考えています。
- 地域に向けた保育園の位置づけとして、子育ての悩みを聞きながら行っていたあそぼう会の中止が続き、それに代わるものの提案ができなかったという自己評価も多かったです。今年度、離乳食についてのコツをホームページでアップしてみましたが、園児にも地域にも役立つ情報発信を目指して、力を入れていくことにしました。

② 外部研修・園内研修について

今年度は、コロナ禍で集合研修は相次いで中止となったかわりに、リモート研修が盛んになってきました。各8分野で、キャリアアップを積んでいます。本園もWeb環境が整っているため、今年度だけで11講座（1講座3日間）受講する事ができました。また、ホールでプロジェクターを使って、密にならない様配慮しながら、受けた講義もありました。今後も積極的に参加していきたいと思います。

また、園内で行われた研修では、保育実践のプロジェクトを新しくたちあげ、実際の保育計画と保育がつながっているかの勉強会に取り組みしました。良いスタートができたので、来年度も引き続き意見交換していきたいと思います。また、保護者アンケートや皆様からの貴重なご意見に対し、話し合う時間も大切にしました。各クラス単位ではなく、気になる対応や疑問に思う事を職員同士年齢層関係なく助言し合える雰囲気をつくり、改善につなげていきたいと考えました。「そんなつもりはなくても・・・」ではなく、受け止める子ども・保護者に伝わる様今後も努めていきます。